

JIS

コルゲートパイプ

JIS G 3471 : 2012

(CLTA/JSA)

平成 24 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	佐久間 健 人	高知工科大学
(委員)	磯 村 陽 治	一般社団法人日本鉄道施設協会
	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	宇 治 公 隆	首都大学東京
	太 田 幸 男	高圧ガス保安協会
	緒 方 隆 昌	一般社団法人日本非破壊検査協会 (川崎重工業株式会社)
	岡 崎 雅 之	公益社団法人自動車技術会 (株式会社本田技術研究所)
	北 田 博 重	一般財団法人日本海事協会
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	櫛 田 宏 一	JFE スチール株式会社
	小 林 美寿夫	ステンレス協会
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	千 葉 光 一	独立行政法人産業技術総合研究所
	寺 澤 富 雄	新日本製鐵株式会社
	都 祭 弘 幸	社団法人日本建設業連合会 (五洋建設株式会社)
	長 井 寿	独立行政法人物質・材料研究機構
	安 田 素 郎	一般社団法人日本鉄鋼連盟

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 52.1.1 改正：平成 24.11.20

官 報 公 示：平成 24.11.20

原 案 作 成 者：コルゲート・ライナー技術協会

(〒135-0042 東京都江東区木場 2-17-12 SA ビル 日鐵住金建材株式会社 TEL 03-3630-4416)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 佐久間 健人)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び記号	3
5 材料及び部品	4
5.1 セクション	4
5.2 継手用ボルト，ナット及び座金	4
6 パイプの標準寸法及び基本構成	4
6.1 一般	4
6.2 円形 1 形の標準寸法及び基本構成	5
6.3 円形 2 形の標準寸法及び基本構成	5
6.4 エロンゲーション形の標準寸法及び基本構成	7
6.5 パイプアーチ形の標準寸法及び基本構成	8
6.6 アーチ形の標準寸法及び基本構成	9
6.7 ES カルバートの標準寸法及び基本構成	10
附属書 A (規定) コルゲートパイプの組立てに用いる継手用ボルト，ナット及び座金	12
解 説	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、コルゲート・ライナー技術協会（CLTA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS G 3471:1977** は改正され、その一部を分割して制定した **JIS G 3470:2012** 及びこの規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

コルゲートパイプ

Corrugated steel pipe

1 適用範囲

この規格は、**JIS G 3470** に規定するコルゲートセクション（以下、セクションという。）を現場施工によって組み立て、水路、通路、その他各種土木・建築構造物に用いる鋼製のコルゲートパイプ（以下、パイプという。）の断面形状、寸法及び構成について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 1051 炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質－第1部：ボルト、ねじ及び植込みボルト

JIS B 1052-2 締結用部品の機械的性質－第2部：保証荷重値規定ナットー並目ねじ

JIS B 1180 六角ボルト

JIS B 1256 平座金

JIS G 3470 コルゲートセクション

JIS H 8610 電気亜鉛めっき

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS G 3470** によるほか、次による。

3.1

コルゲートパイプ

水路、通路、その他各種土木・建築構造物の敷設現場においてセクションを円形、エロンゲーション形、パイプアーチ形、アーチ形及び大断面カルバート（以下、ESカルバートという。）に組み立てたもの。

3.2

円形

断面形状が円形のパイプ。最も一般的に用いられ、1形及び2形があり、1形はセクション2枚、2形はセクション4枚以上で構成される。

3.3

エロンゲーション形

円形2形パイプの直径を上下方向に約5%伸ばしたもの。

3.4

パイプアーチ形

4枚以上の2形のセクションで構成され、偏平化したパイプ。